

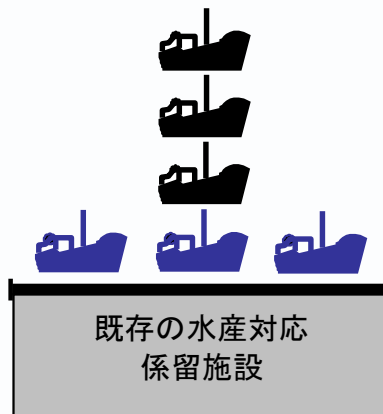
# 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業



## 滞船コストの削減

本事業の実施（物揚場の整備）により、係留施設延長が増加し、小型船の準備・陸揚時の滞船が解消され、滞船コストの削減される。

Without（整備なし）時

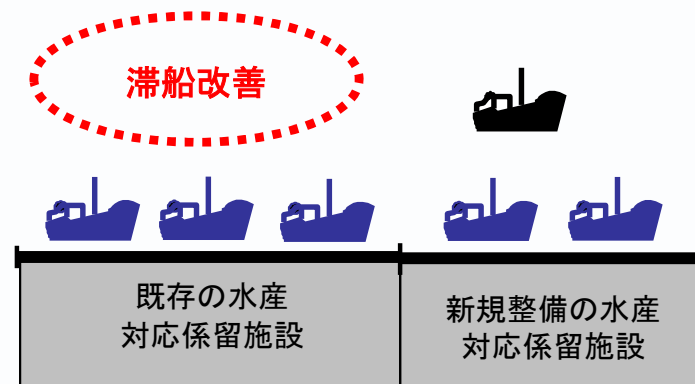
準備・陸揚岸壁の不足により、順番待ちの滞船が発生





 : 作業中の小型船  
 : 順番待ちの小型船

With（整備あり）時

係留施設（物揚場）整備により、準備・陸揚時の滞船が改善



 : 作業中の小型船  
 : 順番待ちの小型船

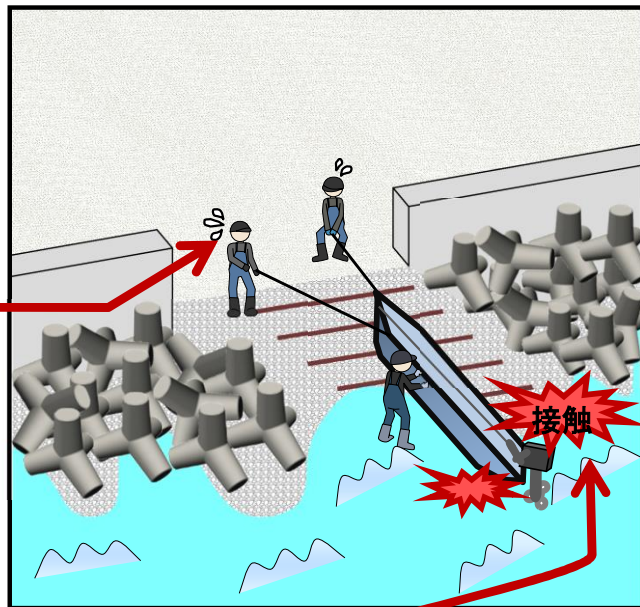
滞船コストの削減額 98百万円/年

# 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業

## 作業コストの削減(上下架作業効率化・船体損傷回避効果)

本事業の実施(船揚場・防波堤の整備)により、小型船の上下架作業やタコ漁の陸揚作業が効率化され、作業コストが削減される。また、静穏度が確保された港内の船揚場利用が可能となり、小型船の船体損傷が回避される。

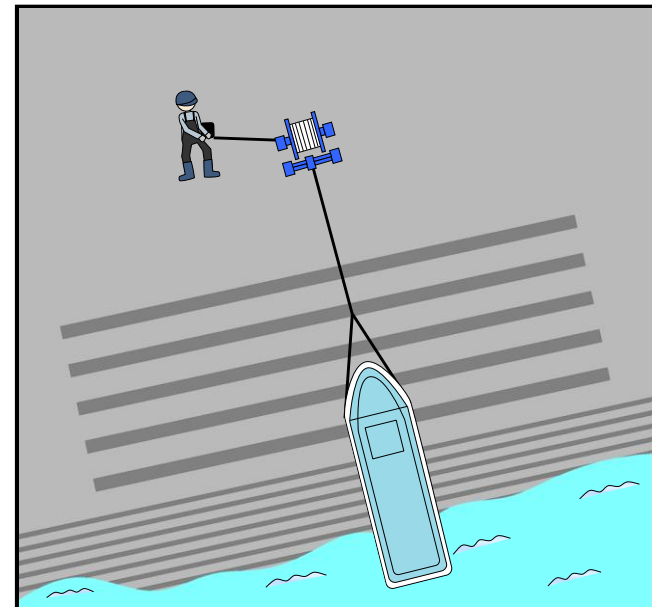
Without (整備なし) 時



整備前は外海に面した作業となり、多くの作業人数を要する非効率な上下架作業を余儀なくされる。

整備前は外海に面した作業となり、風波による船体動揺が発生し、上下架作業時に海底面と接触することで、機関損傷被害が発生していた。

With (整備あり) 時



・整備後は港内の船揚場に漁船を上下架することが可能となり、作業人数が削減される。  
・船体動揺を起因とする機関損傷被害が回避される。

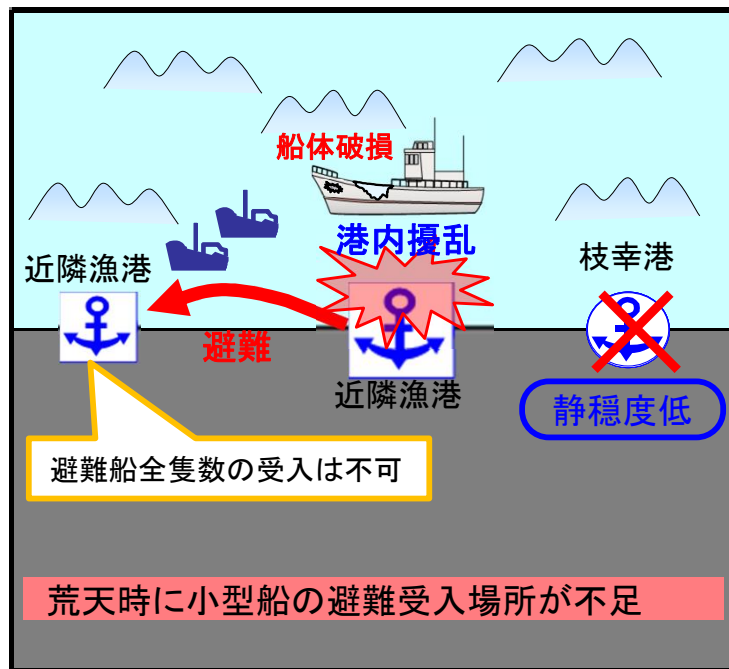
作業コストの削減額 28百万円/年

# 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業

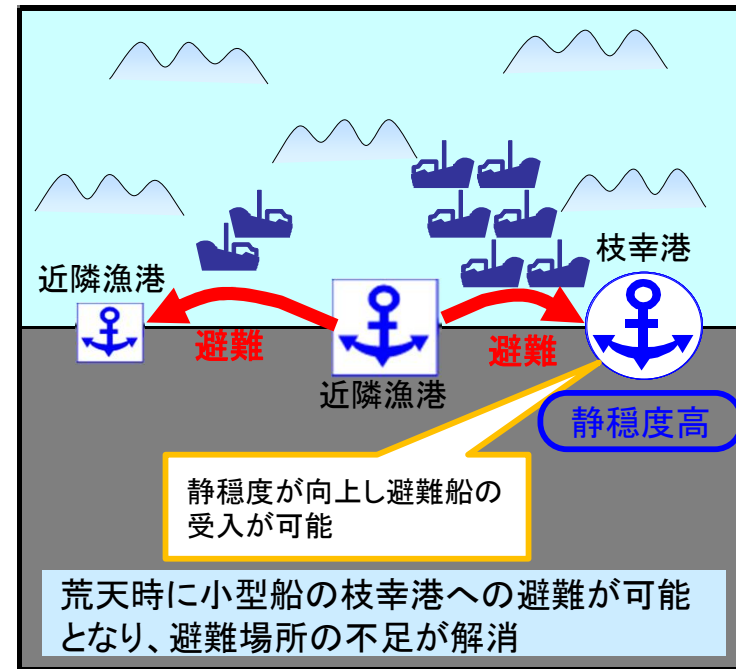
## 海難の減少

本事業の実施(防波堤の整備)により、港内の静穏度が向上し、安全な航行や荷役に加え、荒天時における港内での船舶の避難が可能となり、海難事故による損失が回避される。

Without (整備なし)時



With (整備あり)時



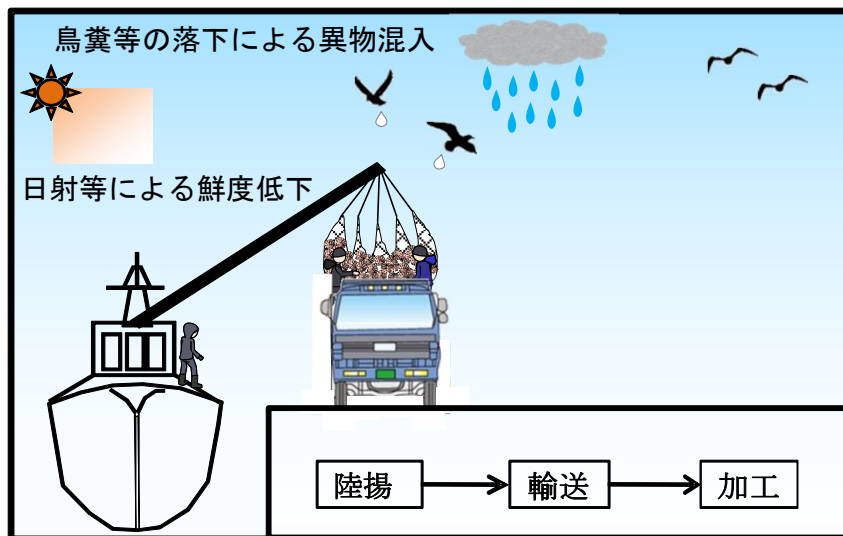
海難事故損失回避額 266百万円/年

# 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業

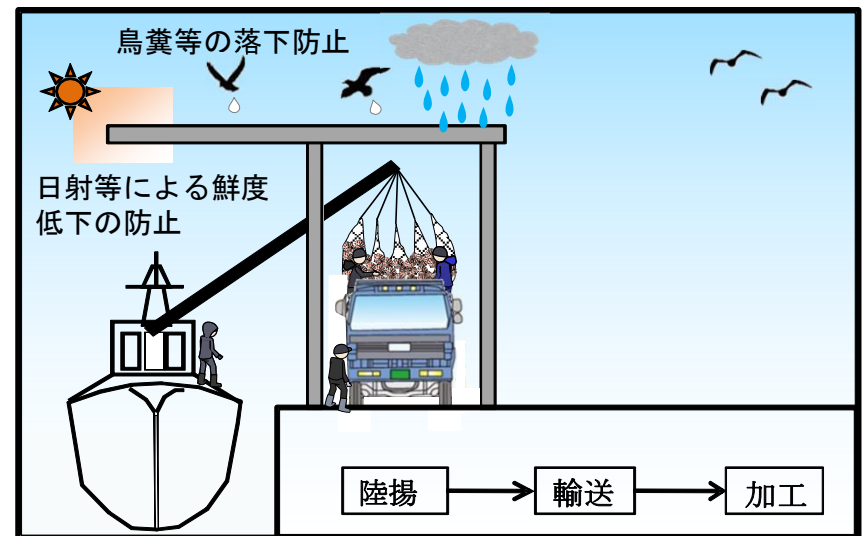
## 漁獲物付加価値の向上

本事業の実施(屋根付施設の整備)により、水産物の衛生管理面が強化され、安全安心で付加価値の高い水産物が供給可能となり、水産物の価格形成の安定化(販売価格の下落防止)が図られる。

Without (整備なし)時



With (整備あり)時



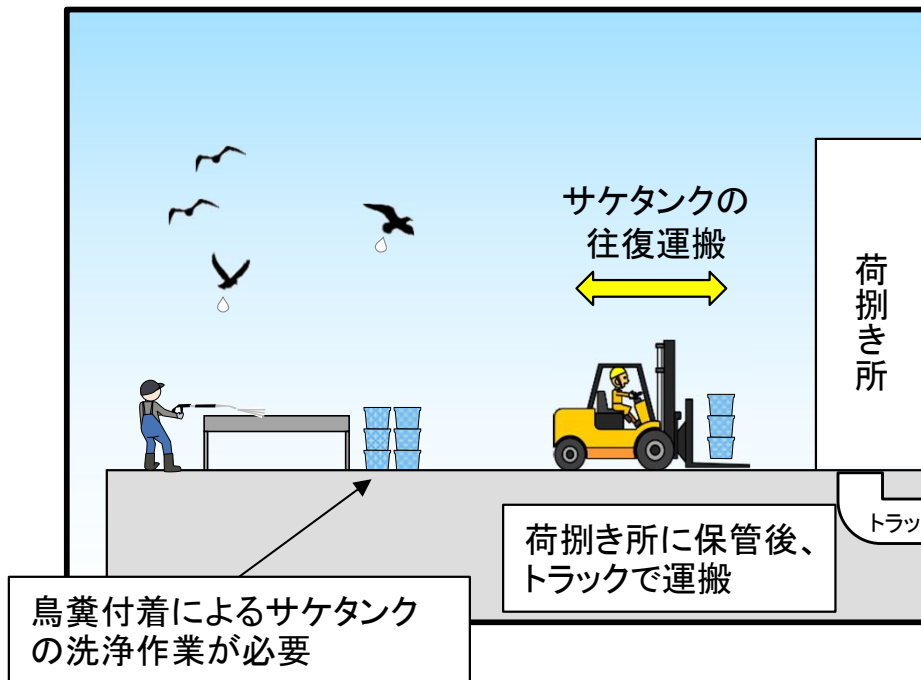
漁獲物付加価値の向上額 316百万円/年

# 枝幸港 本港新港地区 小型船だまり整備事業

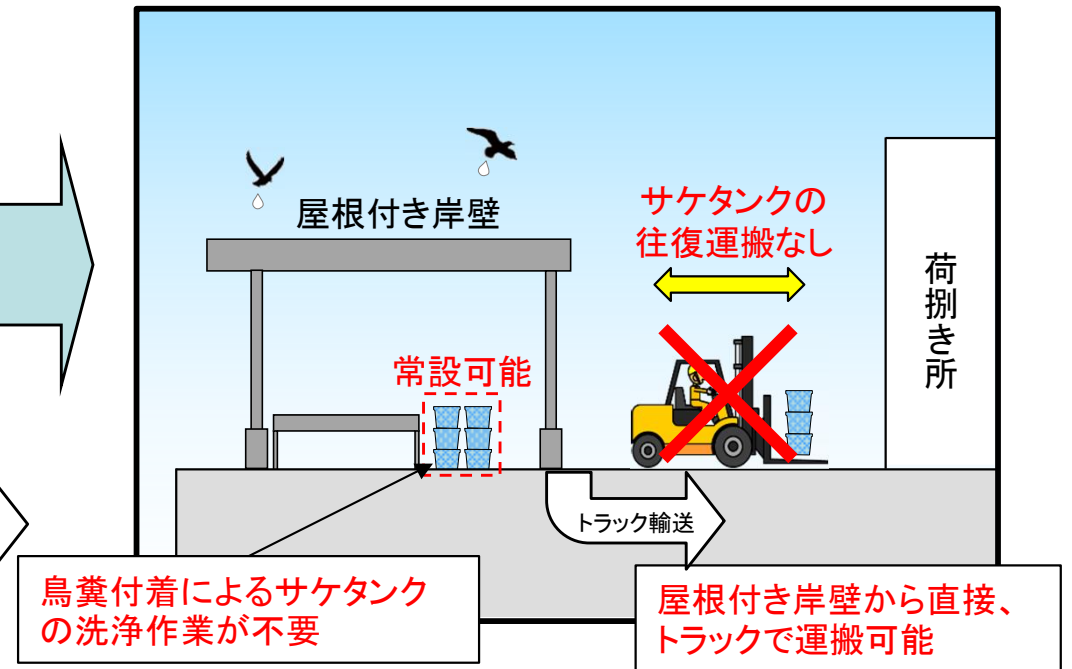
## 屋根付き岸壁整備による作業コストの削減

本事業の実施（屋根施設の整備）により、野天環境に比べて直射日光や降雨・降雪、鳥糞等の影響を低減できることから、漁業活動が効率化され、作業コストが削減される。

Without (整備なし) 時



With (整備あり) 時



作業コストの削減額 18百万円/年